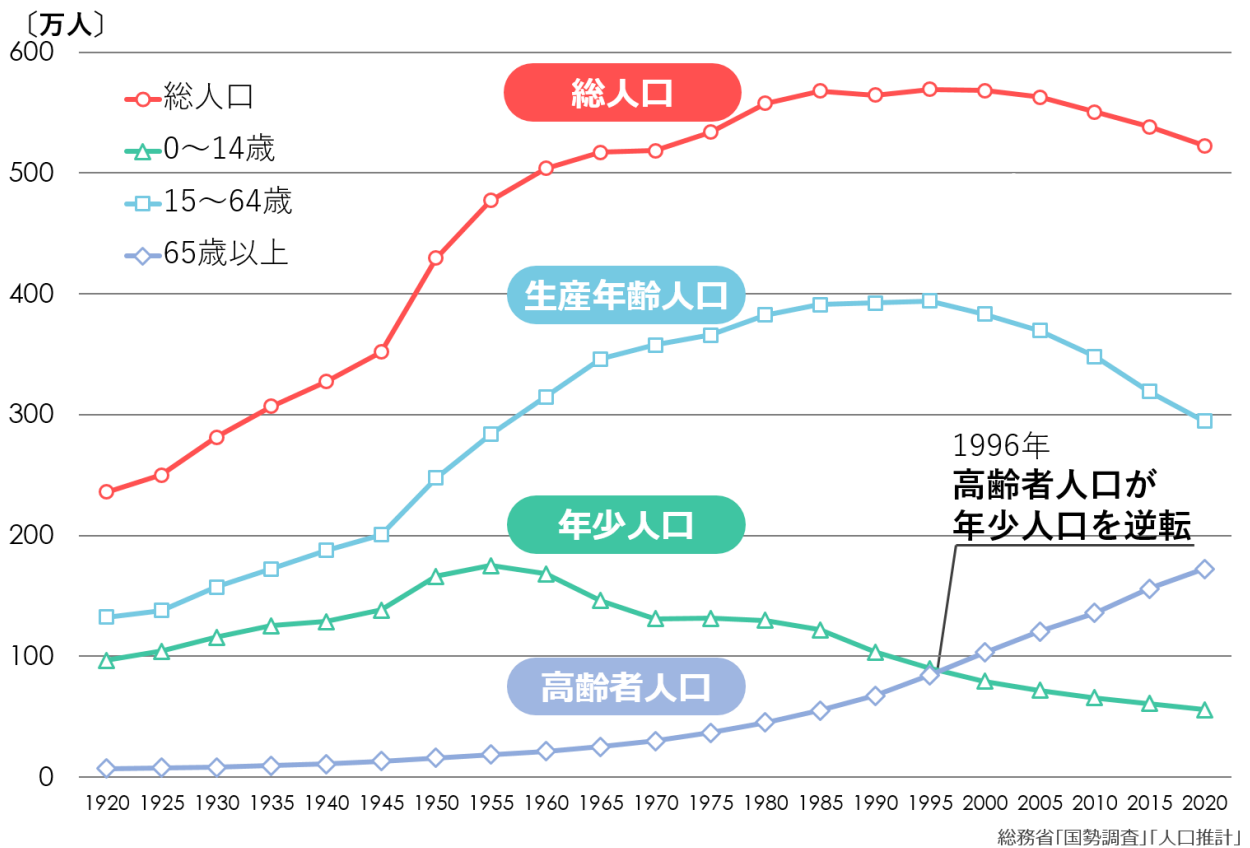


人口減少下における北海道の取組について

1 道内の人口が減ってきています

生産年齢人口（15～64歳）については、1980年代まで増え、1990年代にかけて維持していましたが、1990年代後半から減っています。

■ 年齢3区分別人口の推移(北海道)



※年少人口：0～14歳

生産年齢人口：15～64歳

高齢者人口：65歳～

2 人口が減ると困ること

<p>がっこう かよ 学校に通う子どもや、あそ べる友だちが少なくなる</p>	<p>はたら ひと 働く人がいなくなり、お みせ 店などが少なくなる</p>	<p>ぜいきん びょういん 税金や病院にかかるお かね 金などの負担が増える</p>
		

3 子どもを増やすための北海道の取組

- 希望する人が結婚できるようにお手伝い
- 子どもがほしい人が安心して子どもを産めるような環境づくり
- お父さんもお母さんも、安心して働くことができる環境づくり など

4 みなさんに聞きたいこと

- 自分たちの暮らす街から人口が減っても 幸せに暮らし続けられる北海道にしていくため、今後、特にどのような取組が大切だと思いますか。

1 子育てしやすい社会のための取組

2 必要な教育を受けられる社会のための取組

3 公共交通機関（電車やバスなどの乗り物）の確保のための取組

4 医療や福祉が受けられる社会のための取組

5 働く人の確保や、安定した仕事の確保のための取組

- 自分たちの暮らす街で何が充実していれば、住み続けることができると思いますか（例：買い物などの施設、高校や大学などの教育施設）。